

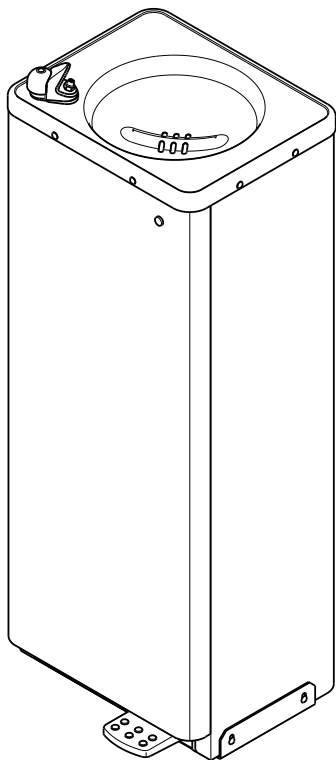
取扱説明書

保証書別添付

据付説明付き

ウォータークーラー（業務用）

品番 SD-P205A



も く じ

ご使用前に

安全上のご注意	2～3
各部のなまえ	4

据付のしかた

設置について	5～8
--------	-----

操作のしかた

ご使用方法	9～11
-------	------

その他

点検とお手入れのしかた	12～13
このようなときは	14
修理を依頼される前に	15
保証とアフターサービス	16
仕様	17～18

上手に使って上手に節電

このたびは、ウォータークーラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（2～3ページ）を必ずお読みください。
- 取扱説明書と保証書は大切に保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などが記入されているか、お確かめください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

（発煙・発火、感電のおそれ）

異常・故障例

- 漏電遮断器が自動的に「切」になる。
- 運転中、焦げ臭いにおい、異常な音がする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 災害で製品が水没した場合。
- ビリビリと電気を感じる。

- すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。



アースを接続する

（漏電時に感電のおそれ）

アース接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する。

■ 給水工事について…



次のことを守る

（水漏れや感電のおそれ）

- 専門業者に依頼する。
- （健康障害のおそれ）
- 上水道に接続する。

■ 電源のプラグやコードは…



次のことをしない

（火災や感電のおそれ）

- 傷つけない、破損しない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
- めれた手で抜き差ししない。
- コードを持って抜かない。
- プラグの抜き差しによる製品の運転・停止はしない。
- コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線はしない。
- コードやプラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みが緩いときは、使用しない。
- プラグを製品と壁の間に挟み込んだりしない。



次のことを守る

（火災や感電のおそれ）

- 専用のコンセントを使用する。
（単相 100V 周波数 50/60Hz）
- お手入れ・修理のときは必ずプラグをコンセントから抜く。
- プラグに付着したほこりは定期的に取り除く。
- プラグは根元まで確実に差し込む。

■ お手入れや整備・点検のときは…



次のことをしない

（火災や感電、けがのおそれ）

- 製品の分解を行なわない。
- 製品に直接水をかけたり、水洗いしたりしない。



次のことを守る

（火災・けが・感電のおそれ）

- 修理は、専門業者に依頼する。
- 凝縮器の清掃は素手でやらない。

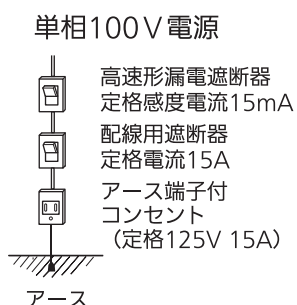
警告

■電気工事について…



専門業者に依頼する

- 電気工事とは…
 - 高速形漏電遮断器を取り付ける。
 - 配線用遮断器を取り付ける。
 - 本機専用のアース端子付コンセントを取り付ける。
 - アース端子付コンセントは必ずアース工事を行なう。
 - 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い、電気工事士の有資格者が行なう。
(火災や漏電のおそれがあります。)



■お使いのときは…



次のことをしない

(火災や感電、けがのおそれ)

- 可燃性スプレーを製品の近くで使用したり、可燃物を置いたりしない。
- 製品に直接水をかけたり、水洗いしたりしない。
- 製品の上部に物を置かない。
- 分解や修理・改造は絶対にしない。
- 製品の外側にねじなどを打ち付けない。
- 製品の上に乗らない。
- 製品にぶら下からない。
- 製品背面の開口部に指や棒を入れない。
- 露出している配管・配線に触れない。
- ぬれた手で内部の物に触れない。



次のことを守る

(引火・爆発、火災のおそれ)

- ガス漏れに気づいたら製品や電源プラグに手を触れず、窓を開け換気する。
(健康障害のおそれ)
- 飲用に適した水道水を使用する。
- 24時間以上電源を切らない。

■設置のときは…



次のことをしない

(火災や感電のおそれ)

- 屋外に設置しない。
- 水のかかりやすい場所に据え付けない。



次のことを守る

(火災や感電のおそれ)

- 据付は専門業者に依頼する。
(けがのおそれ)
- 重量に充分耐える水平な所に確実に据え付ける。
- 転倒防止の処置をする。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■保管・廃棄時は…



次のことを守る

(火災や感電のおそれ)

- 雨水のかからない場所に保管する。
- 製品の廃棄は専門業者に依頼する。
詳しくはお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

注意

■お使いのときは…



次のことをしない

- 水受皿にコップやバケツの水や飲料などを捨てない。



次のことを守る

- 据付場所が傷んでいないか定期的に点検する。

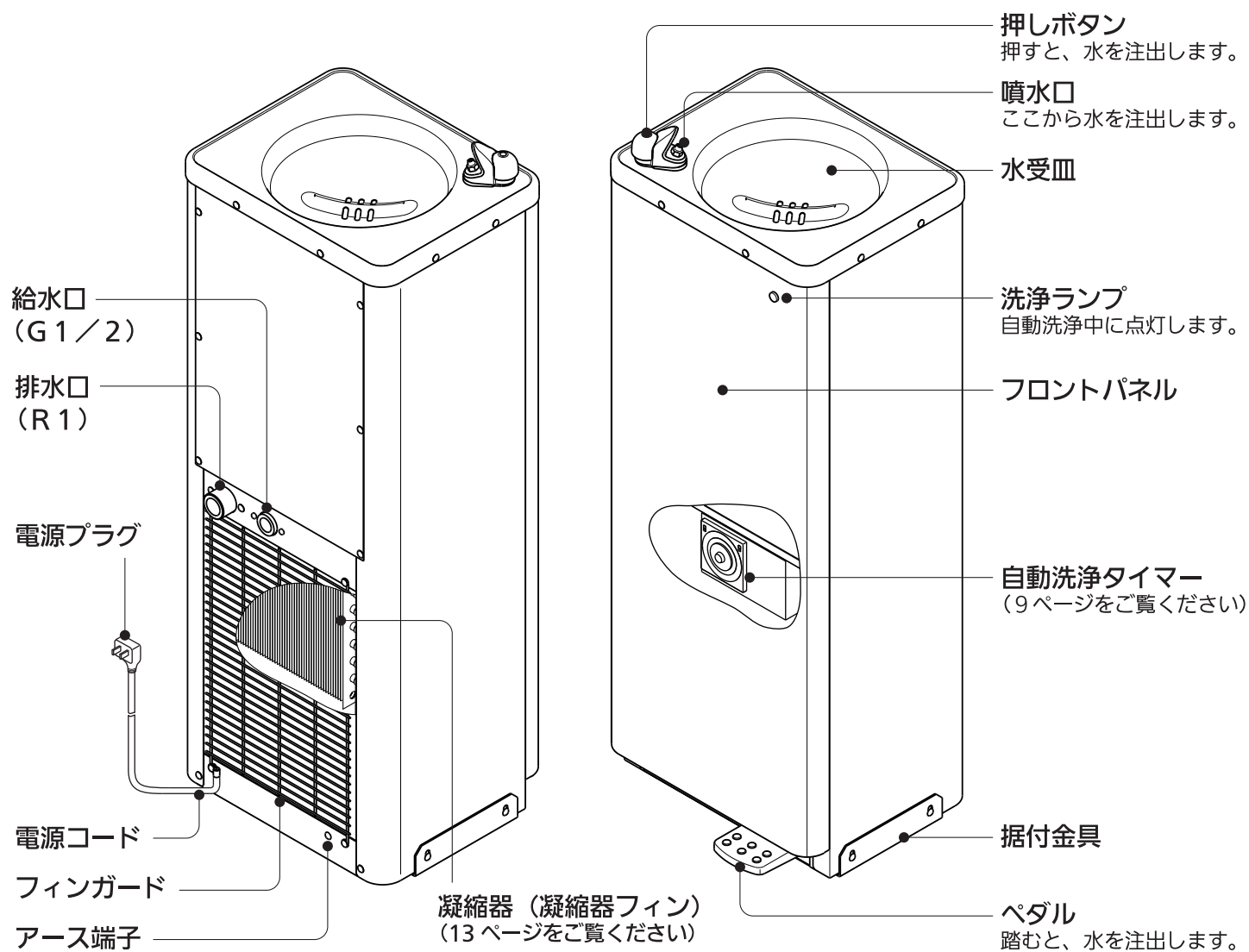
■設置・移動・保管時は…



次のことを守る

- 移動・保管時は、電源プラグを抜く。
- 移動・保管時は、水抜きをする。
- 設置・移動時は、必ず手袋を着用する。
- 床がぬれてもよい場所に据え付ける。

各部のなまえ



設置について

■ウォータークーラーは食品機械です。以下のように設置場所にご注意ください。

事故・損害（故障）免責のご注意

■取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据付が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

●設置時の据付作業は専門業者に依頼してください。

設置場所

- 衛生的な所で使用してください。
冷水も食品です。衛生的な所に設置してください。
- 床がぬれてもよい所で使用してください。
梅雨どきなど湿度の高い日は、製品の外側に露が付くことがあります。
露が落ちて床がぬれてもよい所に設置してください。
- 温泉地などの硫黄分の多い所や排水口から腐食性ガスが発生する所、海岸近辺などの塩分の多い所での使用・保管は避けてください。製品が腐食し、故障の原因になります。
- 屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。
また、水道や流し台のそばなど、絶えず湿気のある所は避けてください。
- 凍結のおそれのある場所では使用しないでください。
周囲温度が0℃以下になったときは使用をやめ、水抜きしてください。給排水管の破裂から水漏れし、周囲をぬらす原因になります。（水抜きについては、14 ページの「長期間お使いにならないとき」の項をご覧ください）
- 周囲温度 5℃～ 35℃の範囲でご使用ください。
この範囲外でお使いになると冷却能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
（空冷式で室温が上がりやすいため換気してください。）
- 風通しのよい所で使用してください。
風通しが悪いと冷却能力の低下や故障の原因になります。
ウォータークーラーの周囲は十分に余裕をとってください。
- 床が丈夫で、平らな所に水平になるように設置してください。
設置に不備があると、水漏れや製品の転倒・落下によるけがなどの原因になります。
製品の振動や騒音を避けるために、必ず安定した状態で設置してください。
さらに地震などで製品が転倒・落下しないように付属の据付金具などで転倒・落下防止の処置をしてください。
- 直射日光の当たる所や発熱機器からできるだけ離してください。
冷却能力低下の原因になります。

設置について

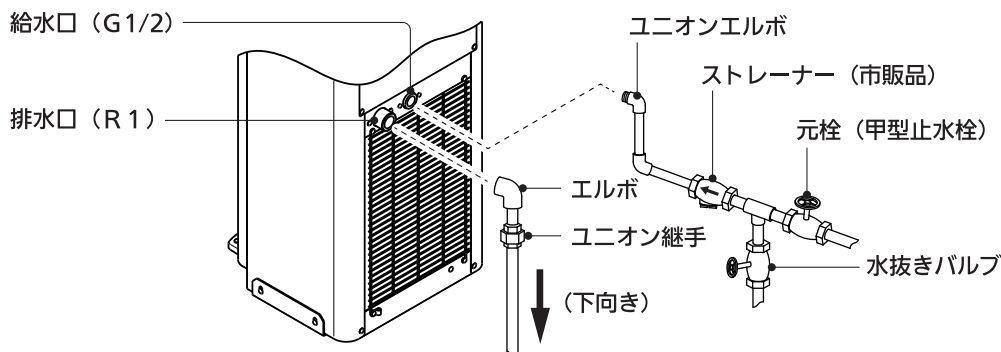
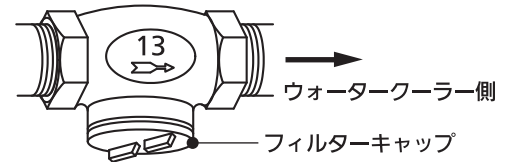
配管工事について

- ウォータークーラーの給排水配管接続口は、製品背面にあります。
- 給排水・配管工事は、専門業者に依頼してください。
- ウォータークーラーに使用する水は、必ず飲用に適した水道水をご使用ください。

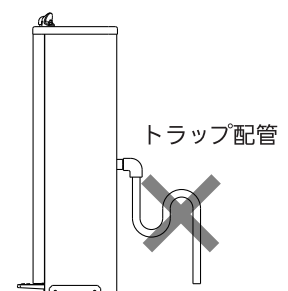
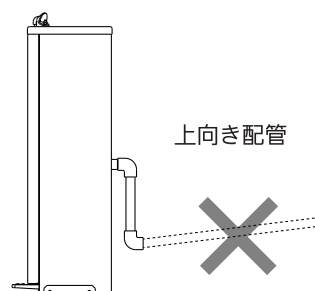
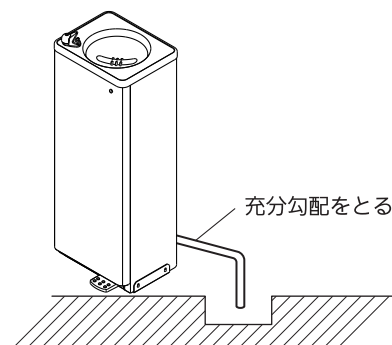
ご注意ください

水道水をご使用になる場合でも、取水源に貯水槽がある場合は、水質にご注意ください。
雑菌などが繁殖し、健康障害の原因になる場合があります。

- 給水圧は 0.05MPa ～ 0.59MPa の範囲内でお使いください。
- 水圧が高すぎますと、接続部の漏水から周囲をぬらす原因になります。
- 給水温度は、35℃以下の水をお使いください。
- 給水温度が高い場合、冷却能力低下や故障の原因になります。
- 給水路の途中に必ず専用の元栓（甲型止水栓）を取り付けてください。
- 市販のストレーナーを給水路の途中に取り付ける場合、以下のことにご注意ください。
- ストレーナーは給水路のできるだけ本体寄り、しかもストレーナーの掃除ができる位置に矢印を水の流れる向きに合わせ、フィルターキャップが下向きになるように取り付けてください。
- 配管接続が簡単に取りはずしできるように必ずユニオン継手をご使用ください。
- 配管工事の際、配管材の切粉などが給水管に入り込まないように特に注意してください。
- 切粉などが本体に入り込むと水回路が詰まって動作不良を起こしたり、故障の原因になります。
- 凍結による給水路の破裂を防ぐため、水抜きバルブを取り付けてください。



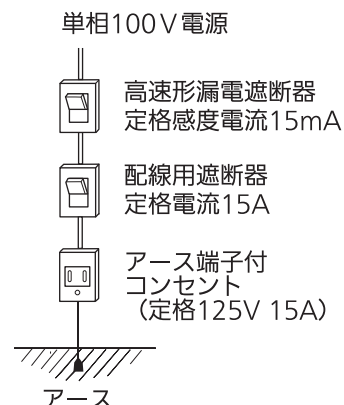
- 排水工事をこの取扱説明書に従い、確実にこなしてください。
 - 排水が屋内に水漏れし、周囲をぬらす原因になります。
- 排水性をよくしてウォータークーラー内部での水漏れを防ぐため、次の点に注意してください。
- (1) 勾配を充分にとって配管してください。
(排水管が下向きになるように、排水口に接続するエルボは必ず下向きにしてください)
 - (2) 排水管は、下水管に直結しないでください。排水溝または排水ピットへ排水してください。
 - (3) 据付面に対して上向きの配管、またトラップ配管などはしないでください。



設置について

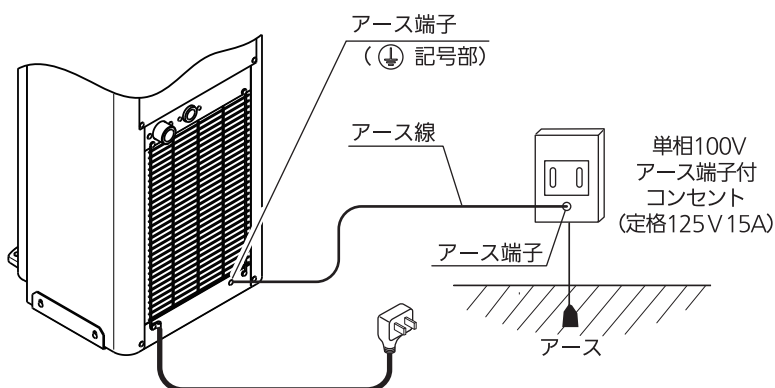
電気工事について

- 電気工事はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼してください。
- 電源はウォータークーラー本体のすぐ近くに専用コンセントを設けてください。
- 電源コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線は発熱などの原因となり危険です。絶対におやめください。
- コンセントの延長工事は電気工事士の資格が必要です。
- 水気のある場所で使用する場合、法規（電気設備に関する技術基準）により接地（アース）するほかに、電気を供給する回路（製品の電源側）に右図に示す順に、配線用遮断器、高速形漏電遮断器を取り付けてください。



アース工事のお願い

- ご使用前にアースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。
- 本製品は安全のため、必ずアース工を行なってください。（専門業者による D 種接地工事が必要です）



⚠ 警告

アース線をコンセントのアース端子に接続する



アース接続

アース線が正しく接続されていないと、漏電時に感電のおそれがあります。

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています）
- ご不明な点はお買い上げの販売店、または専門業者にご相談ください。

⚠ 警告

電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い、電気工事士の有資格者が行なう



電源回路不良、容量不足、施工不備があると、感電・火災の原因になります。

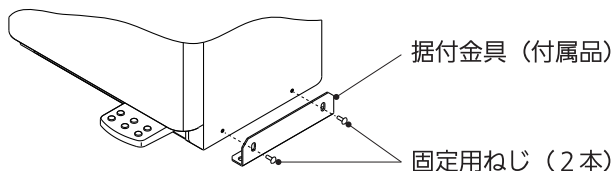
設置について

本体の固定について

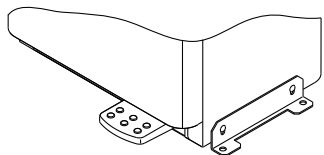
■転倒・落下防止のため、付属の据付金具を使用するか、または直接ウォータークーラー本体と床を市販のアンカーボルト（サイズM8）などで固定してください。

＜ 付属の据付金具を使用する場合 ＞

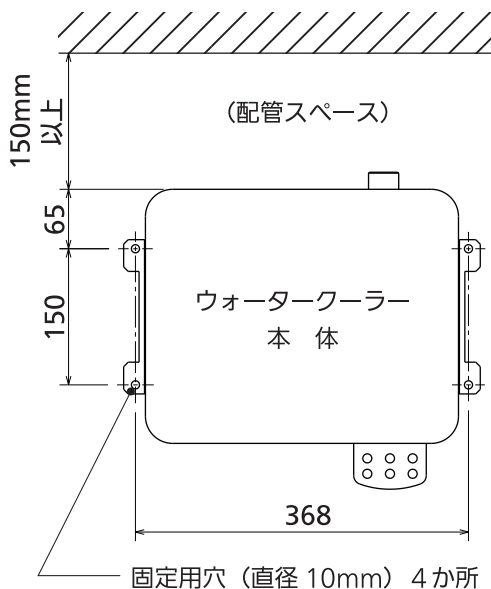
- ①製品本体に固定されている据付金具を取りはずしてください。（両側）



- ②下図のように据付金具を製品本体に取り付けてください。（両側）

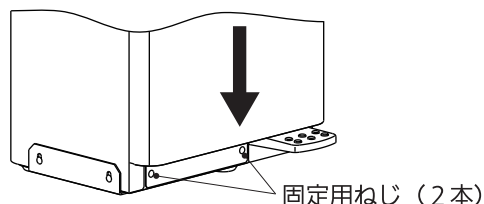
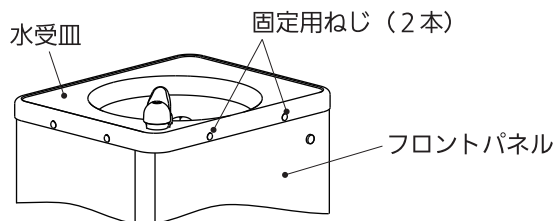


- ③アンカーボルト（サイズM8）で据付金具と床を固定してください。

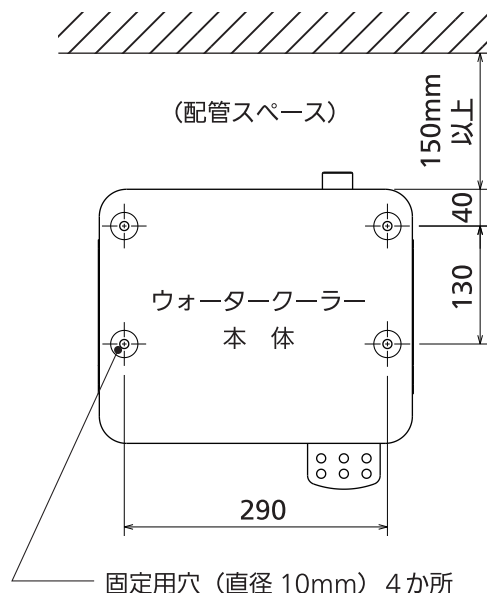


＜ 本体と床を直接固定する場合 ＞

- ①フロントパネルを取りはずしてください。
●水受皿とフロントパネルを固定しているねじ2本とフロントパネル下側の固定用ねじ2本をはずしフロントパネルを下方に引いてください。
このとき洗浄ランプに接続されているリード線ははずさないでください。



- ③製品内部の底面にの穴（直径 10mm）が4か所ありますので、本体と床をアンカーボルト（サイズM8）で直接固定してください。



現在時刻の設定（自動洗浄タイマー）

■9ページの「自動洗浄タイマーの設定」をご覧ください、自動洗浄タイマーの時刻を現在時刻に合わせてください。
なお、洗浄時刻の変更がある場合は、自動洗浄時刻の設定も行なってください。

ご使用方法

ご使用の前に

- 輸送のための包装やテープをはずしてください。
- 出荷時に清掃してありますが、もう一度外部をきれいに清掃してください。

自動洗浄タイマーの設定

本機では常に清潔な水が飲めるように、毎日1回約5分間ウォータークーラー内の水を自動で排出するようになっています（自動洗浄機能）。以下の手順に従って、洗浄を行なう時刻を自動洗浄タイマーで設定してください。

- ①電源プラグをコンセントから抜き、フロントパネルを取りはずしてください。
（詳しくは8ページをご覧ください）
- ②自動洗浄タイマーの周波数切換スイッチをご使用になる地域の電源周波数に合わせてください。（工場出荷時は60Hzに設定されています）
- ③マニュアルスイッチが「AUTO」側になっていることを確認してください。
- ④タイマー中央のつまみを回して時計を現在時刻に合わせてください。
 - つまみは必ず時計回りにのみ回してください。



警告

電源プラグをコンセントから抜く



ショートなどによる感電、けがのおそれがあります。

ご参考

円盤の1～24の数字は、「1～12」が午前、「13～24」が午後を表します。

例) つまみを回すと時計と一緒に円盤も回りますので、現在時刻が午後3時30分の場合、時計左側の赤線と円盤の数字の15が重なるように時計を設定してください。

- ⑤自動洗浄を行ないたい時刻の位置にある設定ピンを1個だけ内側に倒してください。
 - 工場出荷時は、24時（午前0時）の設定ピンが内側に倒れています。
 - 24時以外の時刻にしたい場合は、24時の設定ピンを外側に倒してから設定操作を行なってください。

お願い

自動洗浄を行なう時刻は、ウォータークーラーを使用しない時刻に設定してください。
自動洗浄中は噴水口から水が勢いよく注出されません。

- ⑥以上で自動洗浄時刻の設定は終了です。フロントパネルを取り付け、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

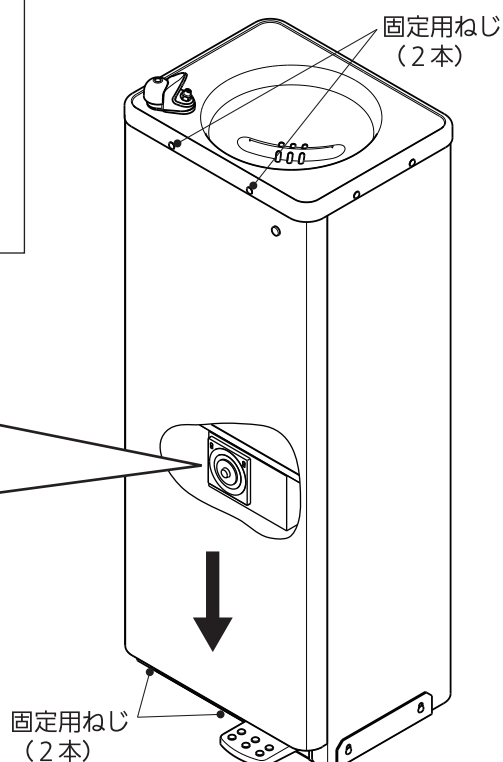
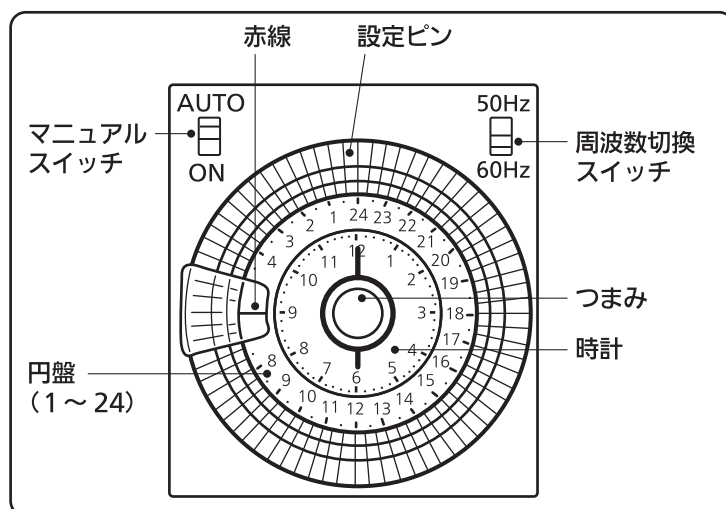
お知らせ

以下の場合は時刻が大きくずれていますので、現在時刻の再設定が必要です。

■長時間停電した場合

■電源プラグをコンセントから抜いて長時間経過した場合

なお現在時刻の設定後は、なるべく早く電源プラグをコンセントに差し込んでください。



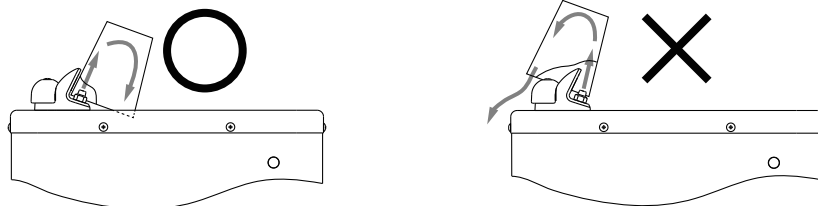
ご使用方法

運転準備

- ①給水用の元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。
- ②電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。
- ③ペダルを4～5分踏み続けてください。

お願い

踏みはじめはウォータークーラー内部の空気が水と一緒に注出されるため、噴水口から水が飛び跳ねることがあります。噴水口にコップなどをかぶせて、水が水受皿の外に飛び出ないようにしてください。このとき噴水口以外のところにコップなどをかぶせないでください。水が水受皿の外に流れ出すことがあります。



噴水口から水が滑らかに注出されるようになったら、ウォータークーラー内の水は満杯です。

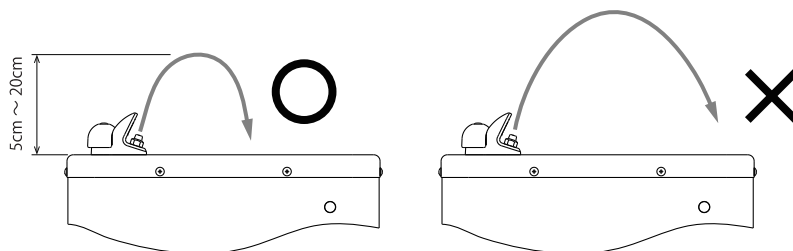
- ④ウォータークーラー内部の洗浄のため、さらに1～2分間ペダルを踏み続け、水を注出してください。
- ⑤電源プラグをコンセントに差し込んでから30分程度で冷水が飲めるようになります。

噴水高さの調整

- 噴水高さが高すぎるときは、給水路に設けた元栓で調整してください。
- 噴水高さは5cm～20cmが適当です。

お願い

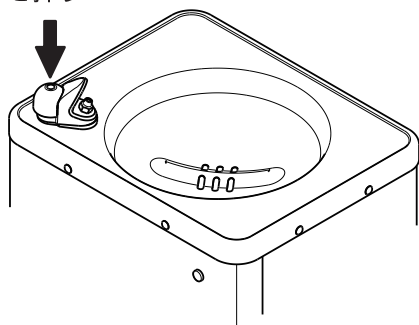
ウォータークーラーへの給水圧が低い場合、適当な噴水高さが得られないことがあります。この場合は水道局などにご相談し、給水圧を上げてください。



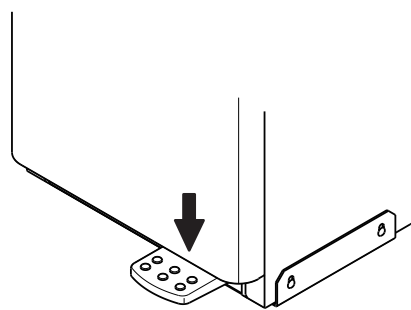
ご使用方法

- 以下の2通りの方法で噴水口から飲料水が注出されます。

①押しボタンを押す



②ペダルを踏む



- 運転を停止するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

24時間以上電源を切らない



ウォータークーラー内に水が残っている状態で24時間以上電源を切ったままですと、水が腐敗して雑菌などが繁殖し、健康障害の原因になります。

ご使用方法

再始動について

- 再始動（電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込む）は、5 分以上の間をおいてください。
- すぐに運転しますと、過負荷保護装置や配線用遮断器などが動作したり、圧縮機に無理がかかったりして、故障の原因になります。

飲料水を安心してお使いいただくために

- ウォータークーラーは食品機械ですので、こまめにお手入れをして常に清潔に保ってください。
- 噴水口周辺、押しボタン、水受皿は毎日洗浄してください。雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。
- 水受皿に水以外の飲料や固形物などは捨てないでください。
- ごみやゴミブリなどによって、電気上の不具合などを生ずることもありますので、製品の周辺はいつも清潔にしてください。

お願い

ステンレスも環境や使い方ですびることがあります。さびの原因となる汚れなどは、中性洗剤で落としてください。ステンレス表面は常にきれいにしておくように心がけてください。

（さびる例）

- 酸・塩分・汚れなどが表面についたままになっている。
- 汚れた品物が直接表面に触れている。
- 鉄の赤さびが表面についている。

点検とお手入れのしかた

⚠ 警告

お手入れのときは、必ず
電源プラグをコンセント
から抜く



電源プラグ
を抜く

ショートなどによる
感電・火災のおそれ
があります。

製品に直接水をかけたり
水洗いしたりしない



水ぬれ禁止

ショートなどによる
感電・火災のおそれ
があります。

お手入れは必ず行ない、常に
清潔に保つ



お手入れを怠りますと噴水口に
水あかが付着したり、かび・雑菌
などが繁殖し、健康障害の原因
になります。

お願い

- 清掃するときは、清潔な手で行なってください。また、清潔なふきんをご使用ください。
- みがき粉、粉せっけん、油類、熱湯、たわし、酸、シンナー、ベンジン、アルコール、アルカリ性洗剤は塗装やプラスチックを傷めますので、ご使用にならないでください。
- 使用する洗浄剤、除菌剤は容器のラベルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 洗浄剤や除菌剤が残るとさび発生の原因になりますので、十分に拭きとってください。

準備するもの

- 洗浄剤：市販の台所用中性洗剤を 500 倍にうすめたもの（水 1 リットルに対して約 2.0 ミリリットル）
- 除菌剤：次亜塩素酸ナトリウム水溶液（濃度 6 %）を 300 倍にうすめたもの（水 1 リットルに対して約 3.3 ミリリットル）
- 水または 40℃ 以下のお湯
- 清潔なふきん

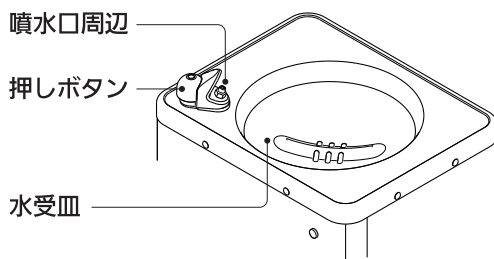
毎日のお手入れ

噴水口周辺・押しボタン・水受皿

洗 浄 洗浄剤を含ませたふきんで汚れを落とし、水またはお湯を含ませたふきんで、洗浄剤を十分に拭きとってください。

除 菌 除菌剤を含ませたふきんでまんべんなくこすりつけ、5 分後水またはお湯を含ませたふきんで除菌剤を十分に拭きとってください。

乾 燥 清潔なふきんで水分を拭きとってください。



⚠ 注意

コップやバケツの水を水受皿に捨てない



コップやバケツの水を水受皿に捨てると
排水がウォータークーラー内から屋内に
水漏れし、周囲をぬらす原因になります。

1 週間に 1 回のお手入れ

外装

■ 柔らかい乾いた布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、以下の清掃を行ってください。

洗 浄 洗浄剤を含ませたふきんで汚れを落とし、水またはお湯を含ませたふきんで、洗浄剤を十分に拭きとってください。

除 菌 除菌剤を含ませたふきんでまんべんなくこすりつけ、5 分後水またはお湯を含ませたふきんで除菌剤を十分に拭きとってください。

乾 燥 清潔なふきんで水分を拭きとってください。

点検とお手入れのしかた

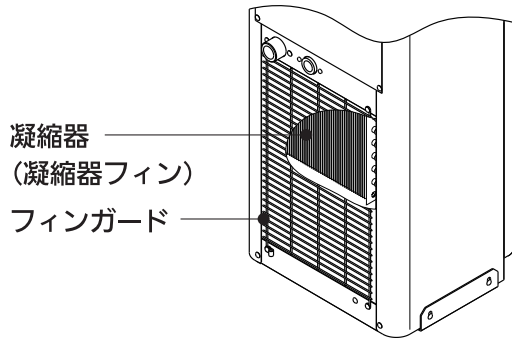
半年に1回のお手入れ

凝縮器フィン

■凝縮器フィンを傷めないように注意して凝縮器に付着したごみやほこりを取り除いてください。

〈清掃手順〉

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②フィンガードを取りはずしてください。(固定ねじ4本をはずしてください)
- ③柄の長い柔らかいブラシで凝縮器フィンを上下にこすり、ごみやほこりなどを取り除いてください。
- ④フィンガードを取り付けてください。



警告

凝縮器の清掃は素手でやらない



接触禁止

凝縮器を素手で清掃すると、やけどやけがのおそれがあります。

- 必ず厚手の手袋をする。

1年に1回のお手入れ

電源プラグ

■電源プラグをコンセントから抜いて、端子のごみやほこりを取り除いてください。

また、電源コード周囲のごみやほこりの清掃もしてください。

■清掃後、コンセントへの差込は5分間待ってから行ない、緩みがないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

お願い

- ぬれた手での清掃は絶対にしないでください。
※設置、ご使用いただく環境によっては、短期間でごみやほこりがたまるおそれがありますので、日々ご確認ください。

お手入れが終わりましたら安全のため次の点検を行なってください

■電源プラグが専用のコンセントにしっかりと入っていますか。また、異常な発熱などありませんか。

■電源コードに亀裂やすり傷、ねずみにかじられた痕がありませんか。

- もしご不審な点がありましたら、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お手入れが終わりましたら自動洗浄タイマーの現在時刻を合わせてください

■電源プラグを抜いて長時間経過していた場合、9ページの「自動洗浄タイマーの設定」の手順に従い、時計を現在時刻に合わせてください。

このようなときは

断水または停電したとき

- 断水または停電の予告があった場合は、給水用の元栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
24 時間以上停電が続く場合は、以下の項目に従ってウォータークーラー内の水を抜いてください。
- 停電復旧時は、自動洗浄タイマーを再設定してください。(9 ページをご覧ください)

長期間お使いにならないとき

- 次の手順に従って運転を停止させてください。

- ①給水用の元栓を閉じてください。
- ②フロントパネルを取りはずしてください。(詳しくは 8 ページをご覧ください)
- ③以下の方法でウォータークーラー内の水を抜いてください。

- 自動洗浄タイマー中央のつまみを時計の時刻が洗浄設定時刻になるまで回してください。(円盤外側の設定ピンが時計左側の赤線に重なるまで時計を進める)
- 洗浄ランプが点灯し、2 ～ 3 分でウォータークーラー内の水がすべて排出されます。
- 水が出なくなりましたら電源プラグをコンセントから抜いてください。

〈停電している場合〉

- バケツなど水を受ける容器をご用意ください。
 - 冷却タンクの排水パイプと排水弁を接続しているゴムホースをはずし、ゴムホース先端から排出される水を受けてください。(排水量は約 3 リットルです)
- ④水抜きバルブを開けて、給水管路中の水を抜いてください。
 - ⑤「点検とお手入れのしかた」の項に従って噴水口周辺・押しボタン・水受皿、外装を清掃してください。
(12 ページをご覧ください)

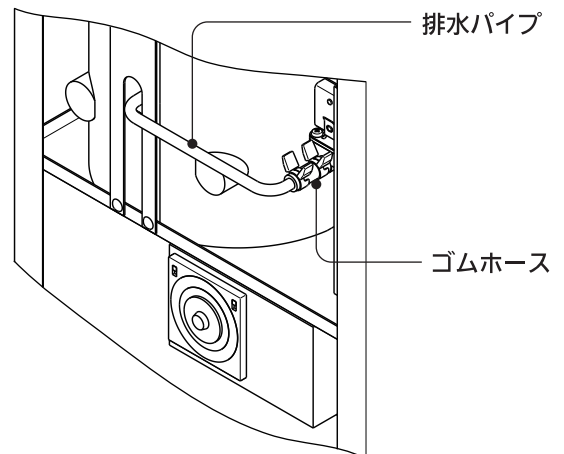
警告

自動洗浄タイマー以外の部品に触れない



感電注意

他の部品に触れると感電のおそれがあります。



周囲温度が 0℃ 以下になったとき

- 周囲温度が 0℃ 以下になったときは使用をやめ、水抜きバルブを開けて給水管路中の水を抜いてください。
給水管の破裂から水漏れし、周囲をぬらす原因になります。

一時的に使用を中止して保管されるとき

- お買い上げの販売店にご相談ください。
- ウォータークーラー内の水を抜いた後、電源プラグをコンセントから抜き、製品に適当なカバーをかけて、湿気の少ない風通しのよい所に保管してください。
(ウォータークーラー内の水の抜きかたについては、「長期間お使いにならないとき」の項をご覧ください)
- 幼児が遊ぶ可能性のある場所には放置しないよう、特にご注意ください。

据付場所を変えるとき

- お買い上げの販売店にご相談ください。

製品を廃棄するとき

- 製品の廃棄は、専門業者に依頼してください。

修理を依頼される前に

- 機械の症状を確認し、再度下記点検を行なってください。
- 以下のことをお調べになって、それでも調子が悪い場合、あるいは、万一異常な音、臭い、煙がでたときはすぐに電源プラグをコンセントから抜き、給水用の元栓を閉じ、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ「お知らせいただきたい事項」（16 ページ参照）をご連絡ください。

症状	原因	処置方法
運転しない	停電している。	復旧の確認を行なってください。 24 時間以上停電が続く場合はウォータークーラー内の水を抜いてください。
	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグを確実にコンセントに差し込む。
	「漏電遮断器」が作動した。	お買い上げの販売店、専門業者にご連絡ください。
	「配線用遮断器」が作動した。	お買い上げの販売店、専門業者にご連絡ください。
運転はするがよく冷えない	ウォータークーラー背面を物でふさいでいる。	通風の妨げとなる対象物を置かないでください。
	凝縮器フィンにごみやほこりが詰まっている。	ブラシなどでごみを取り除く。 (13 ページをご覧ください)
	周囲温度が高すぎる。	換気や空調などで周囲温度を下げてください。
	水の注出頻度が多すぎる。	しばらく待ってから水を注出してください。
	自動洗浄直後です。	30 分くらい待ってから水を注出してください。 洗浄時刻はウォータークーラーを使用しない時間帯に設定してください。
水が出ない・水の出る勢いが弱い	断水している。	お買い上げの販売店、専門業者にご連絡ください。
	水道圧が著しく低下している。	お買い上げの販売店、専門業者にご連絡ください。
水が勝手に出る	自動洗浄中です。 (洗浄ランプが点灯)	30 分くらい待ってから水を注出してください。 洗浄時刻はウォータークーラーを使用しない時間帯に設定してください。
	冷却運転中に噴水口から水が少し流れ出ることがありますが、これはウォータークーラー内に氷が発生することによる現象であり、異常ではありません。	
水が飛び跳ねる	自動洗浄直後に水の注出を行なうと、水が飛び跳ねることがあります。その場合は、押しボタンを約 3 分間押し続けてください。	
音がうるさい	不安定な床面に据え付けている。	製品の重量に充分耐える水平な所に確実に据え付けてください。
	製品がガタついている。	

処置を行なっても復帰しない場合は、修理を依頼してください。



警告

修理は必ず専門の修理業者に依頼する



修理に不備があると、火災や感電・けがのおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書について

この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
保証書紛失の場合には再発行いたしませんので
取り扱いにはご注意ください。

保証期間中の修理

保証書記載のとおり、保証期間を設け無料修理いたします。
ただし、設置後の部品の破損は保証期間中であっても当社側の責任ではない原因の際は有料となります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
その際には保証書をご提示ください。

保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理についてはお買い上げ店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

ご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

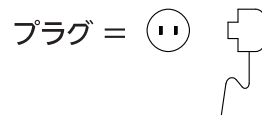
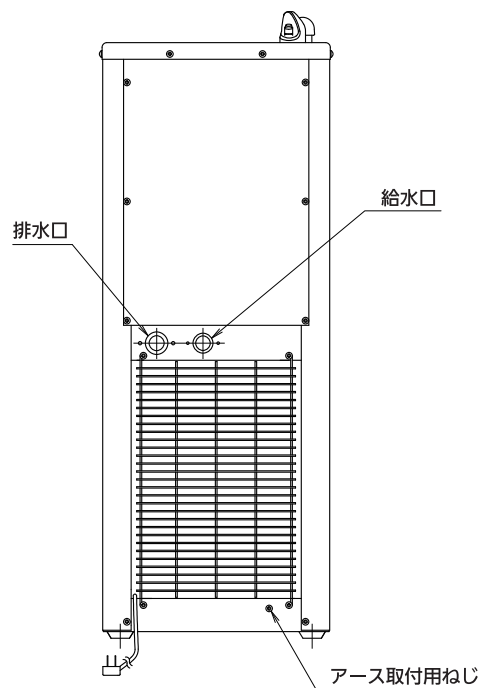
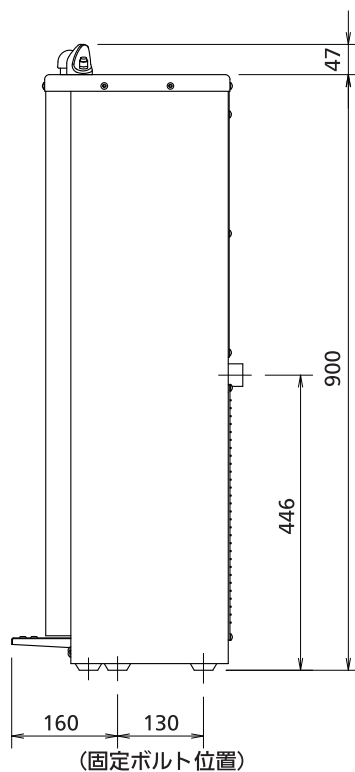
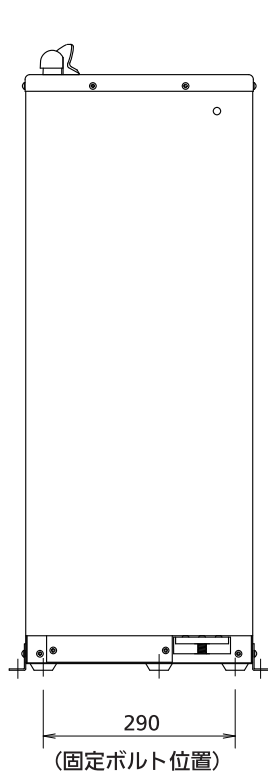
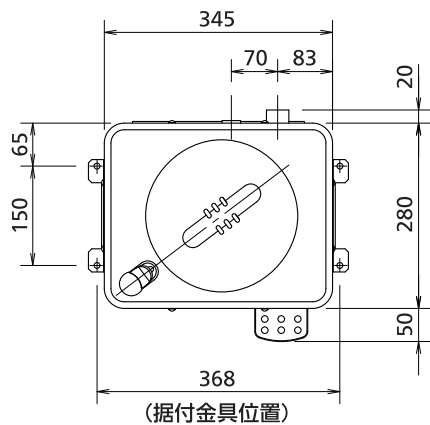
修理を依頼される前に の項目にそってご確認ください。それでもなお異常のあるときは電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

〈お知らせいただきたい事項〉

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ①故障の状況 | (具体的に、できるだけくわしくお知らせください。) |
| ②品番 | } (正面左上に記載してあります。) |
| ③製造番号 | |
| ④おなまえ、おところ、電話番号、道順 | (分かりやすい目標物、棟、部屋番号までお知らせください。) |
| ⑤お買い上げ年月日 | (保証書に記載してあります。) |
| ⑥訪問ご希望日 | |

仕様

(単位:mm)



●プラグ仕様

仕向け国	プラグ 本体形状	プラグ 刃形状	防水構造	プラグ刃 配置図	コンセント 定格	特殊仕様の プラグ型番
日本	横型	ストレート 型	普通型	㊦ ㊧	15A 125V	

仕様

製品名			ウォータークーラー
品番			SD-P205A
外形（mm）（幅×奥行×高さ）			345×330×947
材	外装	水受皿	ステンレス鋼板
		キャビネット	カラー鋼板
		フレーム	溶融亜鉛メッキ鋼板
質	内装	冷却タンク	ステンレス鋼板溶接形
		断熱材	発泡スチロール
性能	冷却能力		14／15 L／h
	冷却タンク容量		3 L
	注出方式		押しボタン・ペダル共用，連続
使用温度範囲			周囲温度 5℃～35℃ 給水温度 35℃以下（凍結なきこと）
冷凍ユニット	圧縮機	型式	全密閉型
		公称出力	130W
	凝縮器		フィンチューブ型 強制空冷式
	冷却器		ステンレストank外周クーリングパイプ巻付
	冷媒		R134a
	送風機		凝縮器用 出力 1 W
電気定格	電源		単相 100V 50／60Hz
	定格消費電力		230／245 W
	運転電流		3.6／3.3 A
電源	電源コード		長さ 2.0m プラグ 横型：2極差込み（アース極なし）
	適合コンセント		アース端子付 2 極差込み 15A 125V
配管口径	給水口		G1／2
	排水口		R 1
製品質量			約 22 kg

※公称出力について: 電動機単体のある基準で定められた出力です。

※電気特性は、周囲温度30℃、水温25℃の時の値を示します。

■便利で使いやすくするために

- 常に製品改良を行なっておりますから、一部仕様が変わることがあります。

MEMO

[illegible]

フロン回収・破壊法について

- この製品は、フロン回収・破壊法の第一種特定製品です。
地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。
この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行ないますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - 2) この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
- この製品で使用しているフロンの種類、充てん量、および二酸化炭素相当量は製品本体に表示しています。

◎お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

品番	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	電話 () ー

パナソニック株式会社 コールドチェーン事業部

〒525-0058 滋賀県草津市野路東3丁目4番74号

© Panasonic Corporation 2013

部 番
6FMSNIS125900

N0613-0